

## オープンレクチャ

テーマ：環境から意味を取り出す構え(仮)

講師：石川初（株式会社ランドスケープデザイン）

略歴：1964 年京都生まれ。東京農業大学農学部造園学科卒業。鹿島建設株式会社建築設計本部、アメリカ HOK 社プランニンググループ研修派遣、などを経て 2000 年より株式会社ランドスケープデザイン設計部勤務。専門は造園設計。登録ランドスケープアーキテクト（RLA）。早稲田大学、千葉大学非常勤講師。GPS（全地球即位システム）の軌跡をもとに地図上に絵を描く「地上絵師」。東京スリパチ学会副会長。著書に『ランドスケープ批評宣言』（共編著）、『ドボクサミット』（共著）など。

## 第1 課題の発表と講評

テーマ：10 年／100 年／1000 年のモニュメント

- 1) 何かを忘れずにおくために環境に埋め込まれたモニュメント事例を集める。
- 2) (1) の一つ以上を実際に訪れてみて、その事例の現状をレポートにて報告する。
- 3) その上で、「新しいモニュメント」を発表する。(アイデア、解釈、…)

●10 年：A グループ（清水、佐藤（慧）、伊藤）、B グループ（中村、山谷、阿部）

●100 年：C グループ（富沢、鈴木(純)、佐藤(幸))、D グループ（鈴木(啓)、筒井、木村）

●1000 年：E グループ（矢野、三浦、山田）、F グループ（佐藤(裕)、武田、岩淵）

※使用したスライドは各グループ代表者が阿部（abeatsushi@archi.tohoku.ac.jp）にメール提出。

## 第2 課題の出題

テーマ：アーカイブのアーカイブ

- (1) 震災に関するもの以外の、物理的な「もの」のアーカイブ
- (2) 震災に関する、物理的な「もの」のアーカイブ
- (3) 震災に関するもの以外の、情報（データ）のアーカイブ
- (4) 震災に関する、情報（データ）のアーカイブ

上記の (1) ～ (4) それぞれについて、

1. できるだけたくさん集める（4セル×3事例＝12以上）
2. 構造を分析する（※）

- ・アーカイブへのアクセス方法
- ・what：なにをアーカイブしているか（内容）
- ・why：なぜアーカイブしているか（目的）
- ・who：誰がアーカイブしているか（主体）
- ・where：どのようにアーカイブしているか（メディア）
- ・how：どのように閲覧するか（インターフェース）

3. 実際に行って使ってみて気づいた点を述べる（一人ひとつ＝チームで3つ）（※）

※フォーマットは追ってメール配布。

	情報	もの
非震災	(3)	(1)
震災	(4)	(2)

## 備考

- ・懇親会＝かこいや仙台駅前店 | 21:30～

## 次回の予定

内容：第2 課題のエスキス（グループごとに発表）／最終課題出題

日時：12月22日（木）18:30-21:00

講師：本江正茂

会場：東北大学建築学専攻仮設校舎 Katahira10

備考：各グループごとに10分以内で発表する。